

# Contents

## 03 特集

### 持続可能な未来に向けて 栄養あるマメを

—国際マメ年2016

## 09 Report 1

### 社会保護と農業： 農村の貧困の悪循環を断つ

—FAO『世界食料農業白書 2015年報告』

## 14 Report 2

### 気候変動とFAOの取り組み

## 18 Crop Prospects and Food Situation

穀物見通しと食料事情 2015.12

概況/食料危機最新情報

## 26 アフガニスタンにおけるFAOの活動

第2回 村に希望を灯したマイクロ水力発電

FAOアフガニスタン事務所 所長 七里 富雄

## 30 Zero Hunger Network Japan

ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパン No.20

未来はひとつ、飢餓をゼロに

—メンバー団体の取り組み⑮

国連WFP日本事務所 広報官 保田 由布子

## 32 FAO 寄託図書館のご案内

## 33 Photo Story

モザンビークの改良サイロづくり

—農民の所得向上に向けた収穫後処理の改善

## 36 FAOで活躍する日本人 No.43

「梓にとらわれず」「現場第一で」

FAOアジア・太平洋地域事務所 プログラム担当官 金野 憲哉

## 38 FAO MAP

外部からの食料支援を必要としている国

2015年12月

## 2016年は国際マメ年

2016年は国連の定める「国際マメ年」です。マメ類はたんぱく質や微量栄養素などの栄養分を豊富に含んでおり、高価な動物性たんぱく質の代替品となるため、ラテンアメリカやアジアなどの開発途上国



において人々の重要な栄養源となっています。また、同じ収穫高に対し穀物の2-3倍の値段がつくため、農家の貧困削減にも大きな役割が期待されます。マメ類はこのほかにも、家畜飼料に使われて家畜の健康状態を改善したり、窒素固定作用により土壌を肥沃にするなど、さまざまな可能性を持っています。FAOは他の国連機関とともに、マメ類が果たす役割や新たな利用方法を広めるとともに、マメの生産・貿易の促進に取り組んでいきます。

## 世界の農林水産

World's Agriculture, Forestry And Fisheries

Spring 2016 No.842

世界の農林水産

Spring 2016

通巻842号

平成28年3月1日発行

(年4回発行)

発行

(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)

〒107-0052

東京都港区赤坂8-10-39

赤坂KSAビル3F

Tel: 03-5772-7880

Fax: 03-5772-7680

E-mail: fao@jaicaf.or.jp

www.jaicaf.or.jp

共同編集

国際連合食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所

www.fao.or.jp

岡部 桂子、リンダ・ヤオ

(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)

森 麻衣子、今井 ちづる

デザイン: 岩本 美奈子

近日中にFAO駐日連絡事務所の

ウェブサイトがリニューアルします。

リニューアルに伴い、URLが以下に変更となります。

www.fao.org/japan

本誌はJAICAFの会員にお届けしています。

詳しくはJAICAFウェブサイトをご覧ください。

R100

古紙パルプ配合率100%  
再生紙を使用